

・環境部門（2%上昇）：

- ・北 13 条門のデザインコンペを実施。実施計画等の予算を H 29 年度に申請する（施設・環境計画室キャンパスマスタープラン実現 TF）予定であり、これにより得点が伸びた。
（注意：評価基準の問いは「人間性・文化性に配慮し、知的創造活動が触発されるパブリックスペースを作るための、全学的デザインガイドラインがあるか」。北 13 条門のコンペは実現に向けた動きとみなし、加点した。）
- ・H28 年度に、車両の年間入構証の値上げを決定し（施設部）、交通システムに関する得点が伸びた。

注 1：一次エネルギー消費量（札幌キャンパスと函館キャンパスの合計）の原単位は、H25 年度以降継続して H17 年度（2005 年度）の値を下回っている。H28 年度は H17 年度比で 5.5% の削減を達成した。しかし、H27 年度比では、H28 年度は 2.7%増加した。

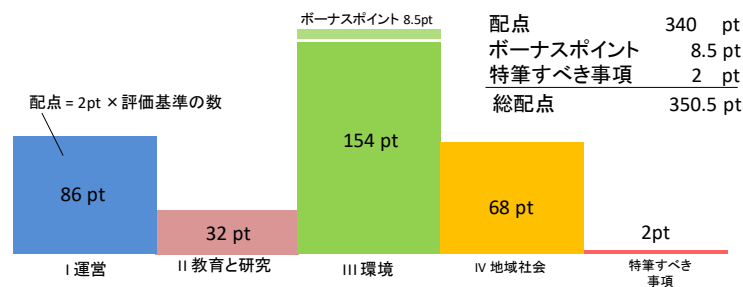
注 2：H28 年度の一般廃棄物排出量（一般ごみと燃料化ごみ。札幌キャンパスのみ）の絶対値は H27 年度比 5%削減を達成した。

・地域社会部門（ほぼ変化なし）：

- ・「建築物に対する耐震構造基準が適用され、それに沿った設計、改修がなされているか」という評価に対し、IS値0.7以上を持つ建物の延床面積の施設延べ床面積に対する割合によりわずかに変動した。

◆補足—認証制度とは

ASSC（アスク）は、サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）を通じて国内外の高等教育機関で活用されている。同協議会では、下図の総合得点率に応じて、回答を提出した機関にサステイナブルキャンパスの認証を発行している。



$$\text{総合得点率 } A[\%] = (\text{得点}) / (\text{配点「回答不可能」と回答した配点を除外}) \times 100$$

- ・全 4 部門および特筆すべき事項を合わせた得点率で総合的な結果を把握できる。
- ・部門ごとの得点率で、どの部門に強み、弱みがあるか把握できる。

認証	総合得点率
プラチナ	85 ≤ A
ゴールド	65 ≤ A < 85
シルバー	45 ≤ A < 65
ブロンズ	A < 45